

スピード！出し過ぎ 大型トラック曲がりきれず 柱に突っ込む！…足を挟まる

2016年1月13日(水)18時5分

警察によると13日午前11時前、横浜市で自動車専用道路から一般道に出ようとした大型トラックが出口でカーブを曲がりきれず、高架を支える柱に突っ込んだ。この事故で、運転手の50代の男性が足を挟まるなどしてケガをしたが、命に別条はないという。警察は、スピードの出し過ぎが事故の原因とみて調べています。

”スピードダウン”で安全運転

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

大型スーパー付近、高齢歩行者の”危険横断”に注意！

**追突事故の多くが
低速追従時の安心感と油断からくる、車間距離不足と注意力不足**

**「ヒヤリ」は、事故の「予兆！」
「安全確認」で、危険な「まさか…」を根絶！**

バック時は 降りて確認 乗っても確認

**追突、玉突き事故事故を防ぐ
交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる**

**車が動いているときは、いかなる場合も
常に、100%運転に集中すること**

**事故の要因は、運転者の
気抜き・手抜き・ぼんやり・わがまま…にある**

見通しの悪い交差点、徐行運転をしていなかった

軽自動車と出会い頭に衝突 自転車の高2男子意識不明

2016年1月13日(水)16時33分

13日午前8時半ごろ、岡山県の交差点で、軽自動車と自転車が出会い頭に衝突しました。この事故で、自転車に乗っていた高校2年の男子生徒(17)が意識不明の重体です。現場は信号機のない見通しの悪い交差点で、警察は、軽自動車を運転していた男性容疑者(30)を過失運転致傷の疑いで現行犯逮捕しました。警察は、容疑者が事故当時、徐行運転をしていなかったとみています。

荷下ろし作業中のトラックに接触、転倒

新聞配達中に原付き転倒、対向の車にはねられ死亡

2016年1月13日(水)11時42分

13日午前2時20分頃、埼玉県の市道で、新聞配達中の男性(77)が原付きバイクを運転中に転倒、対向してきた会社員男性(74)の乗用車にはねられて胸などを強く打ち、死亡した。警察の発表では、新聞配達中の男性は、道路左側で荷降ろし作業のために駐車していたトラックの右後部に接触し、転倒したという。

暴走事故、運転者の勤務先が自己破産申請へ

2016年1月13日(水)0時21分

民間信用調査会社は12日、京都市の呉服雑貨店が事業を停止し、自己破産申請の準備に入ったと発表した。同店は、2012年に京都・祇園で歩行者らをはねた軽乗用車を運転していた男性(事故で死亡、当時30)の勤め先。同店を営む女性は「社会的責任による急速な経営難に対処してきたが、業績回復の見通しが立たなくなった」としている。

事故では7人が死亡し、12人が負傷した。14年2月に店側と男性の両親に計約5200万円の賠償を命じる京都地裁判決が確定したほか、昨年10月には約4600万円の賠償を求める別の訴訟も起こされている。

信号交差点 出合い頭衝突 車4台衝突、出火 2人重傷、1人骨折

2016年1月13日 23時58分

13日午後1時半頃、愛知県の信号交差点で4台が絡む事故があり、うち1台のワゴン車から出火した。運転していた女性会社員(28)と同乗の女性会社員(37)が全身やけどなどで重傷。警察などによると、交差点でワゴン車と乗用車が出会い頭に衝突し、はずみで信号待ちをしていた軽乗用車2台にぶつかったとみられる。乗用車の男性会社員(22)も右手首骨折のけが。ワゴン車には運転していた女性の娘(1つ)が乗っていたが、出火してまもなく、近くにいた市民らが助手席から救助した。直後に車は炎に包まれたという。救助した男性(42)は「仕事中にドーンという音を聞いて来た。もう火が出ていたので必死だった。助手席のドアだけが開いたので、居合わせた数人で助けた」と話した。付近は3時間20分にわたり、通行止めになった。